

1 定点医療機関当たりの新型コロナウイルス感染者数

[全国約5000の定点医療機関から6月26日～7月2日に報告されたデータの平均値]

北海道	6.03 (1.15)	石川	6.94 (1.19)	岡山	5.12 (1.39)
青森	4.48 (1.06)	福井	4.23 (1.14)	山梨	6.88 (1.46)
岩手	6.27 (1.12)	山梨	8.05 (1.22)	山口	5.88 (1.29)
宮城	6.05 (1.30)	長野	5.91 (1.24)	徳島	5.46 (1.19)
秋田	3.35 (1.08)	岐阜	8.46 (1.14)	香川	6.81 (1.52)
山形	3.98 (1.07)	静岡	6.58 (1.13)	愛媛	6.11 (1.48)
福島	6.21 (1.22)	愛知	9.16 (1.14)	高知	5.43 (1.07)
茨城	7.52 (1.16)	三重	7.25 (1.15)	福岡	7.21 (1.25)
栃木	5.43 (1.37)	滋賀	5.49 (1.28)	佐賀	9.44 (1.35)
群馬	4.45 (1.16)	京都	6.02 (1.22)	長崎	6.93 (1.31)
埼玉	7.25 (1.01)	大阪	5.93 (1.15)	熊本	9.58 (1.09)
千葉	9.89 (1.27)	兵庫	5.78 (1.20)	大宮	6.28 (1.52)
東京	6.85 (1.10)	奈良	7.89 (1.41)	宮崎	9.66 (1.34)
神奈川	6.30 (1.04)	和歌山	7.33 (1.42)	鹿児島	13.48 (1.15)
新潟	4.98 (1.20)	鳥取	6.38 (1.34)	沖縄	48.39 (1.23)
富山	3.71 (0.92)	徳島	4.08 (1.19)		

※ は感染者数、単位は人、()内は前週からの倍率、厚生労働省のデータに基づく

新規入院者数 [薬数] **5620** (1.12) 全国 **7,24** (1.18)

コロナ 新規感染 前週比1.18倍 46都道府県増、沖縄突出

厚生労働省は七日、全国約五千の定点医療機関から六月二十六日～七月二日に報告された新型コロナウイルスの新規感染者数は計三万五千七百四十七人で、一医療機関当たりの平均は七・二四人だったと発表した。前週比一・一八倍で、新型コロナウイルスの法的な位置付けが五類に移行して以降、七週連続で増加。富山を除く四十六都道府県で感染が拡大し、特に沖縄は一医療機関当たり四八・三九人で突出している。

また厚労省は七日、死亡診断書を使って死者数を把握する手法の分析結果を、初めて公表した。四月に新型コロナウイルスが死亡に影響したのは五百五十人、経過に影響を及ぼした人も含めると千四百六人だった。毎月分析して推移を監視する。

加藤勝信厚労相は、この日開かれた専門家組織の会合で「沖縄の感染者数は、前回流行のピーク時を超える状況。医療への負荷も増している。県と密接に連携を図る」と述べた。

沖縄の前週比は一・二三倍。病床使用率は78%に達し医療逼迫も懸念される。脇田隆字座長は会合後の会見で、冷房のため窓を閉め